

2019年度第1回例会 「全国総会を振り返って」

日時 2019年6月22日（土）12：30～15：00

会場 ホテル日航プリンセス京都「翡翠苑」 参加者 18名

佐賀会員の司会でスタートした会では、最初に高橋支部長から開会の挨拶がありました。総会での皆様のご協力への感謝の言葉と共に「総会に対する忌憚のないご意見を」とのことでした。

次に各自好みの飲み物を手に、中村会員の音頭で乾杯、食事が始まりました。

しばし美味しいお酒と中華料理を楽しみながら、総会での思い出話など語り合った後、各イベントの担当責任者からの報告に移りました。

最初に、実行委員長の大役を果たされた松田会員からは総会が成功した要因が具体的に示されました。松尾会員のご尽力でこのホテルを会場に確保できたこと。中川会員、勝目会員、亀田会員とのそれぞれのつながりで、村上副市長を来賓に、バイオリニストの森悠子氏を懇親会のゲストに、狂言師の茂山千三郎氏を総会の講師にと素晴らしいゲストを迎えられたこと。高橋会員のアンケートのまとめで成果の多いパネルディスカッションが持てたこと。事前の細やかな準備で研修旅行がスムーズに運んだこと等々。そして見えない所で働いて下さった方々の多大な努力で総会の成功が支えられていたことへの感謝を述べられました。



21日の懇親会については、名司会で会場を盛り上げて下さった中川会員（本日欠席のため代読）の「精一杯努めさせてもらいました。」との言葉が紹介されました。

その後、勝目会員が森悠子氏の感動的だった演奏とトークについて、「姉はどういう話がいいのか、どんな曲がいいのかと当日の朝まで悩み続けていたのを後で知りました。」とのエピソードを披露されました。

翌22日の総会では、高橋会員が全支部へのアンケートをもとに「支部活動について考える」というテーマでのパネルディスカッションについて、改めてその経緯を話されました。23支部からのアンケートをまとめるのは大変だったけれど、アンケートを取ったおかげで支部長会議もスムーズに終われたし、パネルディスカッショ



ンも、もう少し踏み込んだ話になればさらに良かったけれど「今後の活動の第一歩になる話し合いだったと思います。」とまとめられました。私たち皆、改めてアンケートを立派にまとめて下さったご努力に賞賛の気持ちを強くしました。

最終日23日の研修旅行については、廣田会委員から詳細な決算報告書を配っての説明がありました。取るのが大変な迎賓館の団体予約が取れたこと。(これにはネットで情報を毎日確認された中村会員の大変な働きがありました。)木村会員のご紹介で良いバス会社を選べたこと。申し込みの人数が募集定員にピッタリ合致したこと。当日の天候に恵まれたこと。当初の予算通りに実施出来たこと等々。幸運にも恵まれて、無事に旅行を終えられたのを嬉しく思いますとの趣旨でした。

報告の最後、会計担当の松尾会員、久保会員からの会計報告を了承しました。

その後司会を島田に交代。出席者全員から総会の感想等を話していただきました。若い会員の方々からも、口々に総会に参加できて良かったとの声を聞かせてもらい、嬉しく思いました。「皆が気持ちを一つに力を合わせて、京都らしいおもてなしができて喜んでいきます。」(森悠子さんが話された)「ノートルダム寺院の火災のエピソードなどを何人もの友人に話しました。」等の感想を特に印象深く聞きました。

最後に久保副支部長から閉会の挨拶があり、このような例会を持てた喜びの言葉で会を締めくくって下さいました。ホテルから「亥年」の絵皿をお土産にいただき、全員で集合写真を撮って解散しました。

総会については、深く掘り下げて反省点が語られなかったのが少し物足りなかったかもしれませんが、「ありがとう」と「楽しかった」の声が飛び交い、拍手と笑い声の絶えないとても楽しい例会になりました。

